



第74号 令和5年10月5日発行
発行：福島県鮫川水系ダム管理事務所
福島県いわき市東田町1丁目26-1
☎0246-63-2155 📠0246-63-1666
✉ samegawa.damu@pref.fukushima.lg.jp
HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec//41383a>



ダム見学再開

今年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、破傷風や風疹と同じ「5類感染症」に緩和されたことを受けて、当事務所で管理しているダムでも、休止していた「ダム見学」を基本的な感染症対策を行いながら再開しました。

小学校の校外学習を中心に再開後、9月末現在で予定を含め8校にダムとその役割について学んでいただきました。

原則開庁日(平日)のみにはなりますが、1～2名の個人から140名程度の学校の社会科見学まで、「ダムの役割・構造」と「水の大切さや自然環境の保全」を学んでいただけるダム見学を受け付けています。お申し込み時に相談していただければ、通常は立ち入りできない「操作室」や「監査廊(堤体内のトンネル)」も見学することができます。

90分程度が標準的な所要時間ですが、人数やご希望に合わせて、30分程度から2時間程度まで、柔軟なコース設定が可能ですので、当事務所までお問い合わせください。



警報車 「ダム上流では雨が……」



監査廊 すずしー

ダムカードフォトフレーム設置

「ダムカードフォトフレーム」は、ダムカード風の写真の中にご自身(または同行者の方)を写して頂けるフレームで、近年、ダムカードを配布しているダムに設置されることが増えてきており、人気となっています。

四時ダムでは、先日の「四時ダム体験ツアー」にあわせて「ダムカードフォトフレーム」を作成し、当日は多くの方にご自身の入ったダムカード風の写真を撮影して頂きました。



ダムカード



ダムカードフォトフレーム使用例

このたび、仮置きではありますが「ダムカードフォトフレーム」を(ダム構内開放中は)いつでも楽しんで頂けるようにしました。

「フレームに体重をかけたり、乗ったりしない」「フォトフレームを移動したりしない」という2点をお守りの上、楽しくご利用ください。

放流警報設備を改造・更新しました

高柴ダム・四時ダムでは通常時、「流入量＝放流量」の放流を行っていますが、①流入量増加によって一定以上の放流を行う前②放流量増大時③緊急放流の前に、川沿いにある放流警報局から放送とサイレンで放流警報をお知らせしています。



平成 30 年の西日本豪雨では、ダムの放流警報が聞こえなかったという事例もありました、令和元年 10 月の台風などを踏まえ、命を守るために放流警報局の機能強化の改造や老朽化した設備の更新を行いました。

今回の工事の概要はつぎのとおりです。

○スピーカー警報局へのサイレン増設

スピーカーからの疑似音（サイレンの音を模した電子音）は、サイレンの音に比べて小さく届きにくいので、いままでサイレンのなかった井戸沢・沼部・富津・御宝殿の各警報局にサイレンを追加しました。

○高柴系警報局のスピーカー増設

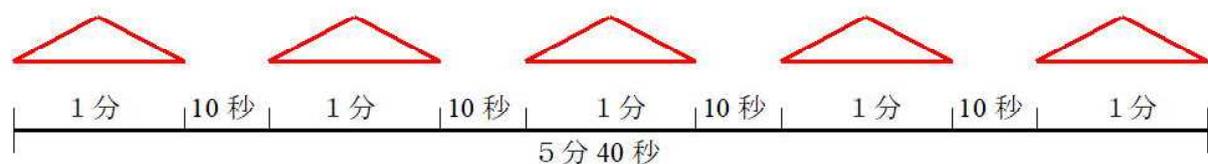
スピーカーからのアナウンスをより聞こえやすくするため、いままでの「4本」から「6本」にスピーカーを増やしました。あわせて、スピーカーを増やした消費電力に耐えるように、直流電源装置を更新し、バッテリー容量を増やしました。

○四時系放流警報局の更新

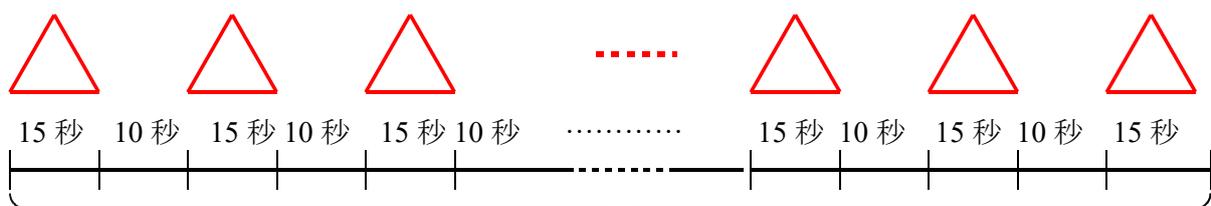
老朽化していた、四時系の放流警報局（川部・根小屋）の局舎を新築し設備をサイレンのある警報局として更新しました。

なお、「1分吹鳴10秒休止を5回繰り返す」吹鳴パターンに変更はありません。

また、高柴系放流警報局で試行していた緊急放流前の「10秒吹鳴15秒休止を15回繰り返す」という吹鳴パターンを、四時系放流警報局でも試行（緊急放流前のみ）します。



放流開始時・放流量増大時の吹鳴時の吹鳴パターン



15秒吹鳴・10秒休止を15回

緊急放流前の吹鳴パターン(試行)